アキラのためになるひとり言
月イチ 2009年4月 第12号
—お客様お役立ち情報誌—
おいかわ版
Vol.12

春になると思い出す卒業式。

今の時期は日差しもなんとなく柔らかくて、やさしく感じられます。長く厳しかった冬がようやく終わりを告げて、待ち遠しかった春がやっと来たと誰もが心うきうきする、そんなありがたい季節ですね。

日本文化の象徴のひとつでもある袴を着けた女子学生が、卒業証書を片手に嬉しそうに街に溢れるのもこの季節です。見ている私たちも、その初々しい姿に思わず一緒に嬉しくなってしまいます。

また4月も中旬ともなれば、仙台は桜が満開となります。日本に生まれてきて本当に良かったなぁと実感するのも、春というこの季節です。

ことしも桜が満開になったら、世の中が暗い分おおいに花見でもして、気持ちのモヤモヤを吹き飛ばし、元気にスタートするきっかけにしたいものです。

本気で叱ってくれた親

さて私は春のこの時期になると、自分の高校の卒業式の出来事がいまも思い出されます。

もう四〇年以上も前の話しですが、「卒業式に出席したい。」と突然親が言い出したのです。私はまだ反抗期を抜けきっておらず、同級生の手前もありかっこが悪くて、ぜったい親には卒業式に出席して欲しくありませんでした。

そこで私は、親にこんな暴言を吐いてしまったのです。「あんたが卒業式に参列出来るのは俺のお陰だ。俺が優秀でこの学校に入り卒業したからだ！だから卒業式には来るな！」と言ってしまったのです。

すると親は、本気で泣きながら私の考えの至らなさを叱ってくれました。「なんでそんな悲しく、貧しい事を言うのだ！」と。その瞬間私はハット目がさめ、「しまった」こんでもない事を親に言ってしまったと感じました。

親が自分を大切にしてくれるのは当り前などといかに自分勝手で、感謝のかけらもない自分で在ったのかに、気付かされたのです。

人は誰でも、自分のもととなる先祖があり両親がおります。親が自分を産んでくれなければ、この世には存在しえなかったのですから。この事実には理屈を超え、素直に感謝しなければならないとの教えがあります。私は当時このような教えがある事など分かりませんでした。

親が泣きながら本気で叱ってくれた時が、まさにその気付きの時であったのだと、いまは思っております。

親に対する姿勢がその人の人格を形成する

ここで親に対する姿勢（意識）が、その人の人格形成の根幹を成すという、8つの段階というのをご紹介したいと思います。（倫理研究所）

❶**嫌悪形（嫌う、責める）**
親の欠点や短所、言動の表面だけを見て嫌い、責める人。このタイプの人は、人に干渉され気に触る事があると、理性を失いやすくトラブルメーカーになりやすい。

❷**無視型（バカにし、無視する）**
相当わがままに育てられ、親をなめきっている。この軽薄な心理傾向は正しく生きるとか、誠意を尽くすなどの意識がうすく、人から敬遠され信用されにくい。

❸**要求型（要求するばかり）**
一九六〇年以降に生まれ、欠乏と貧窮を知らぬ世代に多い。何でも要求すれば満たされると言う深層意識があり、そうならなかった時のストレス解消を他の責任に転化する傾向が強く、不平不満のかたまりになりやすい。

❹**無感覚形（あたりまえと思っている）**
親が命をかけて自分を産み、わが身を削って育ててくれた「わが命」であることに気付かない。社会生活では、周囲の協力や援助を当り前と思い「横着物」の評価を受けやすい。

❺**偽善者型（感謝しているが、口先だけ）**
口では「親を大切に」と言い、そう考えてもいるが実際の行動は、受身で消極的で口先だけ。自己の凝視力や他者への洞察力に欠けるため、社会生活においては、創造的、主体的な働きは成しえない。

❻**小成型（親孝行していると、自己満足）**
親があっての自分であると感謝し孝行を心がけ、実践している。しかし親も自分も孝行者と認識し、満足しきっているため、これしまりとしていて、可もなく不可もない状態を越える事は難しい。

❼**深化形（心から感謝し、努力を怠らない）**
心から親に感謝し、親も喜び満足している。ひいては自分の人生をも満足する生き方を念願し、これを最優先の努力目標としている。このタイプの人はあらゆる働きにおいて、自己に及第点をつけないハングリーファイターであり、リーダーを務進できる人といえる。

❽**結実型（心から感謝し、感謝される生き方）**
人生・社会を覚醒し、社会を導く人生の達人。偉人の境涯の人をいう。

人間は、人生という年輪を重ねるごとに、苦労の分だけ人格的に深化をして行くと言われますが、皆様はご自身がどの段階にあると認識しておられますか？

私が親から泣いて叱られた時は、たぶん②の辺りだったのだと思います。私のような凡人は⑧の結実型は一生かかっても難しいでしょうから、なんとかあの世のお迎えが来るまでに、⑦の深化型まで到達したかなぁと思える人生を、妻と一緒に歩んで行きたいと思っております。

あなたの会社の販促応援団
ちょっと、気取ってみませんか？

発行／株式会社アクトジャパン
発行責任者／及川 明
〒980-0011 仙台市青葉区上杉2丁目9-23
Tel.022-225-2493 Fax.022-225-2488
E-mail:mail@act-jpn.co.jp http://www.act-jpn.co.jp

こぼれたちこ あるある敗団

プリントアウトで失敗！

このコーナーでは、日頃の職場での失敗談や回避策をご紹介します。

時間をかけて作った会議資料を印刷してみると、あれれ、意味不明な余白がいっぱい。ウェブサイトを印刷したら、端にちょこっとだけ広告バナーがあるだけであとは余白だけ。なーんて経験あるでしょ。

原因 **紙面と用紙サイズが合っていないんです**

解決 **印刷プレビュー**しよう！

プリントアウトの失敗は、仕事の遅れだけでなく、資源の無駄遣いにもなります。チリも積もれば言いますが、意外とバカにならない紙代。社内のみで使用するもの等は両面印刷するなどして、節約しましょう。VIVA! Print out!!

用紙の設定や余白の調整をして、きちんと枠に収まったのを**確認してから、出力しよう。**

Dr.コパの風水による 今月の運勢

一白水星
S11 子、S20 酉、S29 午、S38 卯、S47 子、S56 酉、H2 午 生まれの人
出会いに恵まれ、金運も吉
新しい人間関係が始まる月。信頼を大切に、長い付き合いになる人とは公私混同しないこと。花見や旅行、買い物もおすすめです。 ラッキーフードは「白魚鍋」

二黒土星
S10 丑、S19 申、S28 巳、S37 寅、S46 未、S55 申、H1 巳 生まれの人
行動的になってツキあり
仕事も人間関係も積極的に元気よく振る舞いましょう。音楽や香り、旅行で元気をもらって、明るい笑顔を心がければ大丈夫。 ラッキーフードは「黒魚」

三碧木星
S9 寅、S18 未、S27 辰、S36 丑、S45 戌、S54 未、S63 辰 生まれの人
多方面で波乱の予感
トラブルの対処法を間違えると大変なことに。しかし、つらい時こそチャンスあり。足回りを綿厳にして、確認を怠らずに。 ラッキーフードは「エビフライ」

四緑木星
S8 酉、S17 午、S26 卯、S35 子、S44 酉、S53 午、S62 卯 生まれの人
楽しく過ごしてツキアップ
楽しい反面、出た結果にくよくよしてしまうことも。お花見で気分転換してください。中途半端にしないでダウンさせます。 ラッキーフードは「鮭のおにぎり」

五黄土星
S7 申、S16 巳、S25 寅、S34 丑、S43 申、S52 巳、S61 寅 生まれの人
気のゆるみに注意
油断して無駄な出費が増えたり、ミスをしてしまいそう。ただし、失敗しても人とのふれあいで挽回できます。綿製な水の近くが吉。 ラッキーフードは「寿司」

六白金星
S6 未、S15 辰、S24 丑、S33 戌、S42 未、S51 辰、S60 丑 生まれの人
やる気を表に出して吉
やる気を維持させるには、バッグやスーツを新調して気分一新。仕事では同じミスを繰り返さないこと。お花見に出かけて運気アップ。 ラッキーフードは「ウナギ」

七赤金星
S5 午、S14 卯、S23 子、S32 酉、S41 午、S50 卯、S59 子 生まれの人
人間関係が幸運を呼ぶ
お花見や会食をして楽しい人間関係を築けそう。汗をかいた分、信用につながるので、フットワークよく行動しよう。スポーツが吉。 ラッキーフードは「天丼」

八白土星
S13 寅、S22 未、S31 申、S40 巳、S49 寅、S58 未、H4 申 生まれの人
バランス感覚を大切に
積極的に前に出て。ただし、つかんだら出遅ぎず控えめに。押し引きの加減を間違えないこと。携帯のストラップを新しくして良し。 ラッキーフードは「イクラ」

九紫火星
S12 丑、S21 戌、S30 未、S39 辰、S48 丑、S57 戌、H3 未 生まれの人
健康運を安定させること
職健康面に大きく影響される月。初めは何事も慎重に。自信を持って行動すること。同窓会や思い出の場所にいくのが運気上昇。 ラッキーフードは「焼き魚」

「Dr.コパ風水2009大開運術」廣済堂より

Book.Review 今月のオススメの一冊

「泣いた赤おに」
浜田廣介著
（大型本）偕成社

浜田廣介／童話作家。日本児童文芸家協会初代理事長。代表作に「泣いた赤鬼」「椋鳥の夢」「竜の目の涙」などがある。

編集者から

鬼には生まれてきたが、みんなのためによいことばかりをしてみたい、できることなら人間たちのなかまになって、なかよくくらしていきたい。赤鬼が、そう思って村人に親しまれようと苦労をします。青鬼が赤鬼を信用させるために、犠牲になって助けます。鬼同志のまこころがおりかさなってひびきあい、読者の胸深くにとどく「ひろすけ童話」の代表傑作です。

心のやさしい赤鬼ですが、村人と仲良くなりたくてもなかなかうまくいきません。なぜって鬼だから。鬼と人が仲良くできるはずがないじゃない、現実的に。見かねた青鬼がここぞとばかりに協力するのですが、それは親友との別れを意味することを赤鬼は知らずに自分の目標を成し遂げます。望みは叶ったものの、その瞬間はたと気付く、本当に大切な友を失ったことの深い悲しみと、親友が自分を犠牲にしてまでしてくれた友情に気づき号泣するところで本は終わります。内容があまり子供向けではない絵本ですが、当時三歳の息子にまだ早いとは思いつつ、よく読み聞かせていました。「なぜ赤鬼は泣いたのか？」の私の問いに、「みんなと仲良くできないから」と返答。その後も何度か読み聞かせをしていくうちに、現在五歳の息子は「青鬼くんがいなくなったから。」少し成長したかな、「泣く」ということはこういうことだなと大人になって改めて気付かされる。本当の友情とは？ 絵本だからとなめてはいけない。（佐藤）

熱がある 食べて治す！

発熱とは体の中の毒素を分解しようと起こるもの。無理せず医師の診察を。解熱剤に頼らず熱によい食べ物を試すのも健康的な方法です。

No.0003

ふきのとう ―春先の花穂は熱を冷ます妙薬

ほろ苦い風味の春の味覚ふきのとうの花穂は風邪の妙薬として、解熱、咳止め、痰とり等の作用があります。

ふきのとうのホイル焼き

■つくり方
①、ふきのとう適度はよく洗う。
②、アルミホイルを折り、ふきのとうをのせ味噌を塗る。
③、焼き網かフライパンにのせて、中火で2～3分、蒸し焼きにする。

★適量は1日1～2個。焼きたてのあつあつを食べれば、かぜのつらい症状が和らいでゆきます。

ゴーヤ ―豊富なビタミンCが解熱効果を発揮する

近年、沖縄ブームで健康野菜として人気。解熱作用、利尿作用、夏バテ解消にも効果的。

★炒めてよし、おひたしもよし、天ぷらもよし。粉末にしてお茶にするのもいいよ！苦いけど、意外とそれがクセになるんだよ。

他にも熱を下げる効果のある食材はコチラ！

豆腐 バセリ キュウリ 乾燥ミミス

※熱が出たときの注意（1次分の補給、②水分の補給を十分にとってね。

次回は、「やるきがでない―五月病」です。

妄想決めゼリフ募集！

下写真のシチュエーションからイメージする「決めゼリフ」を考えよう！というこのコーナー。

Eメールはコチラ：
kan_etu@act-jpn.co.jp

読者PRESENT
必要事項を明記の上、上記宛先まで「はがき」または「Eメール」でご応募ください。優秀作品は次号に掲載し、さらにプレゼントをお送りいたします。どしどしご応募ください。締切4/30。

編集後記

3月30日の日経新聞の「社長百人アンケート」で、景気回復の時期は来年の秋以降と予想した経営者が一番多いと記事に載っておりました。やはり一年以内の景気回復は望めないものとして、今はいくらか資金繰りに余裕があっても、予めなんらかの対策を立てておく必要がありそうです。

★来月号の内容予告

主な内容は、温故知新は「日本を理想的な国にしようとした外人さん」「広告遠場レポート」「シャインさんへの10の質問」です。来月号も見て下さいね♥

ACTJAPAN
チラシでなやんでるアナタ
制作・印刷・配布方法までトータルでサポートいたします。
http://www.act-jpn.co.jp/

当社営業日のご案内

4 April

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29 昭和の日	30		

●は休日

ツキイチコラム

サバイバル大作戦、親子の絆と役割

歴史に学ぶ！

温故知新

真田昌幸
1547～1611年

日本の戦国大名。戦国時代末期の知略・謀略として知られる。次男は「真田十勇士」で有名な真田幸村。

今回は、ある親子の絆の話です。昨今、核家族化が進み、血縁関係が希薄になっている現代。親の期待や将来への不安。子供の依存と反抗。人間関係の基本でもある親子の繋がりが複雑に絡み合った中で、うまくいかないのは誰しも心当たりがあるのではないでしょうか。

舞台は戦国時代。真田昌幸（父）、信之（長男）、幸村（次男）の親子が、小さな出自ながら、自らの才覚で出世し、それぞれの役割を果たし、戦国乱世を生き抜いたとても感動的なエピソードをご紹介します。戦国時代の大名の目標は2つ。一家の発展・名誉と一家の存続。この2つを真田親子は見事な連携プレーで成し遂げるのです。

卑怯と呼ばれて誉められ

お父さんの昌幸の家は、代々武田家に仕える小さな家柄でした。その中で信玄に認められ、足軽に抜擢され幾度の戦を経験し頭角を現します。しかし、信長によって武田家が滅ぼされると、北条・徳川・上杉と主を転々とします。ついこないだまで敵だった家に従い、そうかと思えば戻ったりと手のひらを返すように主家を変える。そして同盟の印として息子たちを人質にします。

後に豊臣家が天下を取り、豊臣家の大名になるのですが、秀吉に「表裏比興の者」と言われます。「比興」とは「卑怯」のあて字のことですが、この時代の武将にとっては誉め言葉。小さな家の真田家が大名に成り上がる実力を皮肉混じりで讃えたもの。小さい勢力のものは、その時その時で自分の利益になる大きな勢力に従い、よい働きをし家を成長させるしか方法がない。それは他のどの大名にも言えることですが、昌幸は自らの実力で見事に実行します。

生き残りの道

時は流れて、豊臣秀吉が死ぬと家康が天下取りに乗り出します。豊臣家を守ろうとする石田三成が挙兵し、関ヶ原の戦いが起こるのです。三成が嫌われ者だったため、家康にそそのかされた豊臣恩顧の武将たちは次々に徳川に寝返ります。昌幸は家族会議を開きます。真田家は豊臣家の大名で、しかも豊臣方の大名と縁戚関係にあり、家康とは昔からの宿敵であったため、昌幸と次男の幸村は豊臣方につきます。しかし、それでは豊臣方が負けてしまうと真田家は潰えてしまうかもしれない。そこで長男の信之は、男関係にもある徳川方につきます。一方が負けても一方が残るし、勝った方が負けた側の命乞いもできる。賛否両論ありましたが激論の末、親子はそれぞれ袂を分かつことを決断します。

※家康は武田信玄の頃から何度も昌幸に負かされているのだ。

お父さん、日本一って誉められたよ

関ヶ原で豊臣方が敗れ、昌幸・幸村親子は謹慎処分を受けます。間もなく昌幸は息を引き取り、宿敵の家康を倒すという夢は、息子の幸村に引き継がれます。そして、家康が豊臣家を滅亡させるべく、大阪城を攻撃します。豊臣側の幹部として幸村が家康に対峙します。父の昌幸は過去に幾度も戦で家康を負かしたことがあり、家康は昌幸を恐れていました。ところが、相手は当時無名の息子と聞いて、侮っていたのかもしれません。幸村は徳川の大軍に対して、少数で家康本陣に切り込み、ゲリラ作戦で何度も家康を追いつめます（有名な真田十勇士）。結局は幸村は負けるのですが、後で家康は、負けるかもしれなかったと「真田にっぽん一の兵」と敵ながら賞賛するのです。武将にとって戦場での見事な働きぶりは、例え負けても賞賛され、後生に語り継がれます。正々堂々と戦い、家康を何度も追いつめた幸村は、真田家の名を天下に轟かせる偉業を成し遂げるのです。

※背景のイラストはそのイメージ図、「大伏の別れ」だよ。

お父さん、家を残しましたよ

さて、お父さんや次男の活躍が後生まで残っているのは誰のおかげでしょう。長男の信之です。関ヶ原で徳川方につき、負けたお父さんと次男の助命をし、本当は処刑のところを謹慎に罰を軽くできたのは、信之の働きがあってのこと。その後も、かつて袂を分かつ時、お父さんと約束したこと「家を末代まで存続させること」を忠実に実行するのです。お父さんと弟が有名すぎてあまり知られていませんが、実はお兄ちゃんのお陰で今があるのです。

お父さんが家を成長させ、次男が名を上げ、長男が守る。親子が騙し合い、裏切る乱世の時代に、親子一丸となり、社業を発展させたケースはとても珍しい。それにしてもやはりスゴイのはお父さん。子は親の背中を見て育つと言います。小さな家のお父さんが強い意志とビジョンを持ち、息子を教育しながら成長し、その志を息子たちが受け継ぎ、ついに目標を果たす。やっぱりお父さんのしっかりしたリーダーシップがあったからに違いありません。

親とは？

親を大事にしなさいと小さい頃から教わりましたけど…

発端はこの人。孔子さん。中国の偉い思想家。儒教というってもありがたい教えを説いた人です。

親子関係はもっとも基本的な関係のひとつじゃ。子は親によって生まれ、育てられたのだから、子は親に対して感謝の意をもたなければならぬ。親に対する「礼」を「孝」というだから親孝行、親不孝と呼ぶのじゃよ。くれぐれも親を大事にするのじゃ。よいな。

日本でもこの考えはすごく根強い。若い時分は、「親なんて」と自分ひとりで育ったように勘違いし、また親も「こんなにしてやったのに」と子供に過剰に期待して、関係がギクシャクしている家庭は、めずらしくないですよね。

でもお互い年を重ねていくうちに、思いやる心が芽生えてきて、自分がしてもらった分とまではいかなくても何かと気にかけるようになるのは不思議ですね。

もうひとつ。大事なことは、

子供がケンカに負けた、親の権力で対処して欲しいと甘かれ一言。この人は千利休だよ。

親という字は「木」の上に「立って」「見る」。親は子供を木の上で見守る。子もまた親が木の上にいることを確認し、安心して前を向いて歩いてゆける。それが理想の関係でしょうか。

お客様の試練

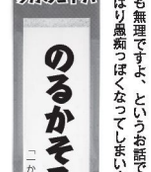
ここで一句、
「面接で　できると言ったよ　言ってません」

試練を乗り越えれば、きっと
新しい出合いがある。

今月のコトバ

のるかそるか

「一か八か」ともあるね☆



★例会レポート 応用編

―第５回例会―

去る3月9日(月)広告道場第三期応用編第五回例会を行いました。

今回の内容は、

①宿題の振り返り

②どの分野でナンバーワンを目指すのか。

自社のキャッチコピーも考えよう。

です。

各会員企業の皆様より、宿題の発表をしていただき、それぞれ業種が違う4社の間で共感できるところ、業種特有の問題などがお互い客観的に情報交換したようです。自社で検討する際も、どのように行えば良いか気付いた会員様も多かったようです。宿題を通して自社の強みや弱み、今後力を入れていく部分が明確になったようでした。

■どの分野でナンバーワンを目指すのか

・自社の強みを活かして、チャンスに出来るものは何か？

・5つの分野のどの部分でNo.1を目指せるのか？

■自社のキャッチコピー

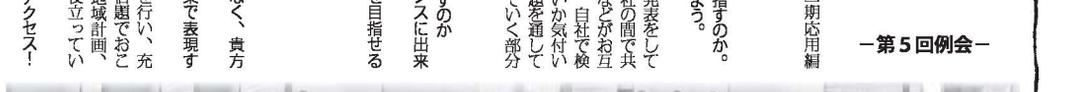
・何が得意な会社なのか？

・何をしてくれる会社なのか？

・頼めば何が得られるのか？

・多くの人に話しかけるのではなく、貴方に言っているのです。

・右記のことをわかりやすい言葉で表現する。

会員全員で感想やアドバイスを行い、充実した討論を行いました。各社宿題でおこなった「強い商品作り」「営業地域計画、業界・客層計画」がこの部分に役立っていたようでした。

詳しくは…http://www.doujyou.jp へアクセス！